

講義コード	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	中国語3					第1期
履修前提条件					備考	
授業の目的	中国語3は初めて中国語を学ぶ人を対象とする入門初級科目であり、中国語を受講する人は一年次に中国語1（第1期）、中国語2（第2期）とともに、この中国語3（第1期）、中国語4（第2期）を受講する必要があります。中国語1、2が文法的基礎を中心として学ぶ科目であり、中国語3、4は日常的な会話表現を中心として学ぶ科目です。この中国語3は中国語の発音の基礎をから基礎文法についても学びますが、日常的な会話表現の訓練を目的とする科目であり、中国語1、2と併せて中国語初級（中国語検定試験4級レベル）の修得を目標としています。この科目は中国人の教員が担当します。					
到達目標	中国語入門の段階で最も重要な点は、中国語の発音とその表記法（拼音字母＝中国語のローマ字表記法）を習得することです。漢字を知っている日本人は、視覚的な漢字の意義やニュアンスに依存し、表面的な意味を理解して簡単に分かった気持ちになりがちですが、言葉は発音をしっかりと身に付けて初めて、コミュニケーションに役立てることができるのです。中国語の4つのリズム（四声）や日本語にはない発音を、しっかりと体で覚えること、および中国語の基礎的な文法（名詞、形容詞、動詞の各主述文）構造を学び、言葉の語順に習熟することを目標としています。					
授業外学修内容・授業外学修時間数	新しい外国語を学ぶことは、新しい発音法やイントネーション、言葉の語順感覚に習熟する必要があり、それは口と耳を使った肉体的なトレーニングなのです。従って、授業の時だけの練習ではなかなか身につけません。毎週何回かCDを聞いたり、声に出して反復練習したり、学んだことを復習することを心がけましょう。言葉を学ぶ基本はあくまで肉体的なトレーニングと考えて取り組む姿勢が大切です。（授業のほかには15時間を学習にあてること）					
授業計画	<p>前期15回の授業を予定しています。授業はテキストに沿って行います。テキストについては最初の授業で指示しますので、その指示に従って準備してください。</p> <p>【第1回】中国語ガイダンス 中国語とはどんな言葉か？テキスト確認 発音1. 単母音、2. 声調、3. 子音</p> <p>【第2回】発音4. 複母音、5. 鼻母音、6. 声調の変化、7. 儿化音</p> <p>【第3回】第1課 人称代名詞、動詞「是」、否定「不」、疑問「吗」</p> <p>【第4回】第1課 トレーニング1、リスニング1</p> <p>【第5回】第2課 指示代名詞、形容詞述語文、疑問詞「怎么样」、「的」について</p> <p>【第6回】第2課 トレーニング2、リスニング2</p> <p>【第7回】第3課 場所代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文、「呢」、時間表現</p> <p>【第8回】第3課 トレーニング3、リスニング3</p> <p>【第9回】第4課 助動詞「想」、選択疑問文、副詞「也」、動詞重ね型、語気助詞「吧」</p> <p>【第10回】第4課 トレーニング4、リスニング4</p> <p>【第11回】第5課 数詞、量詞の使い方、反復疑問文、人民元の数え方</p> <p>【第12回】第5課 トレーニング5、リスニング5、第6課 動詞「有」、動詞「在」</p> <p>【第13回】第6課 前置詞「离」、方位詞、トレーニング6、リスニング6</p> <p>【第14回】第7課 連動文、「什么」、完了の「了」、疑問詞「怎么」</p> <p>【第15回】第7課 トレーニング7、リスニング7、試験前のまとめ</p>					
成績評価の方法	期末に試験を実施、また随時小テストや作文の提出を求めます。最終成績は、授業への取り組みや学習の状況、試験や提出物の採点結果に応じて評価します。授業の進度や成績評価については、授業の際に担当の先生にご確認ください。					
フィードバックの内容						
教科書	『1冊めの中国語（会話クラス）』劉穎、喜多山幸子、松田かの子（白水社）					
指定図書						
参考書						
教員からのお知らせ	このシラバスは専任の森山秀二が代表して書いています。					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。					
その他						